

蒲郡北地区

まちづくりと公共施設の将来を考えるワークショップ

オリエンテーション

日 時：令和3年7月31日（土）

午後1時30分～午後3時30分

主 催：蒲郡市

ZoomID：922 7088 6336

パスコード：815539

プログラム

開会	1：30
趣旨と経緯について ・ワークショップの趣旨・目的 ・進め方とスケジュール	1：35
前回までのふりかえり ・公共施設マネジメントの取り組みについて ・令和元年度ワークショップでいただいたご意見について	1：45
質疑回答	2：10
(休憩)	2：30
小中学校規模適正化方針とランドデザイン ・小中学校規模適正化方針について ・公民館のランドデザインについて ・保育園のランドデザインについて	2：40
質疑回答	3：10
閉会	3：30

<目次>

- ・ワークショップの趣旨・目的 1
- ・進め方とスケジュール 2
- ・公共施設マネジメントの取り組みについて 7
- ・令和元年度にいただいたご意見 19

<別冊資料>

- ・蒲郡市小中学校規模適正化方針 概要版
- ・蒲郡市公民館のあり方について（公民館ランドデザイン） 概要版
- ・蒲郡市公立保育園のあり方について（保育園ランドデザイン） 概要版

ワークショップの趣旨・目的

蒲江市では、急激に変動する社会情勢に対応した公共施設の機能配置や魅力向上を図るとともに、将来に大きな負担を残さない行財政運営を実現するために、公共施設マネジメントの取り組みを進めています。

これまでに市民の皆様のご意見を伺い、「蒲江市公共施設マネジメント基本方針」と「蒲江市公共施設マネジメント実施計画」を策定し、今後の公共施設の整備を進めるための道筋を示しました。

その計画では、小中学校、保育園、児童館及び公民館（地区利用型施設）の再編にあたっては、中学校区単位で住民の皆様のご意見を伺い、施設再編計画となる「地区個別計画」を策定することとしています。

このワークショップは、「蒲江市公共施設マネジメント基本方針」を踏まえ、これから起こる様々な社会の変化や地域の課題に対応した既成概念にとらわれない、より良い公共施設の配置や使い方を考えるために開催するものです。

蒲江市公共施設マネジメント基本方針

- ①適正化 将来を見据えた維持可能な施設規模に適正化します。
- ②効率化 効率的・効果的な維持管理を実施します。
- ③魅力 社会変化に対応した魅力ある公共施設へ再編します。
- ④安全性 計画的な保全により公共施設を安全に維持します。
- ⑤実行力 公共施設の再編に向けて実行体制を構築します。

市は、皆様のご意見を参考に蒲郡北地区（中部中学校区）の「地区個別計画」を策定し、施設の再配置を進めることで、“住んでよかった”“住み続けたい”と思えるような誇りと愛着を持てるまちづくりを目指します。

進め方とスケジュール

1

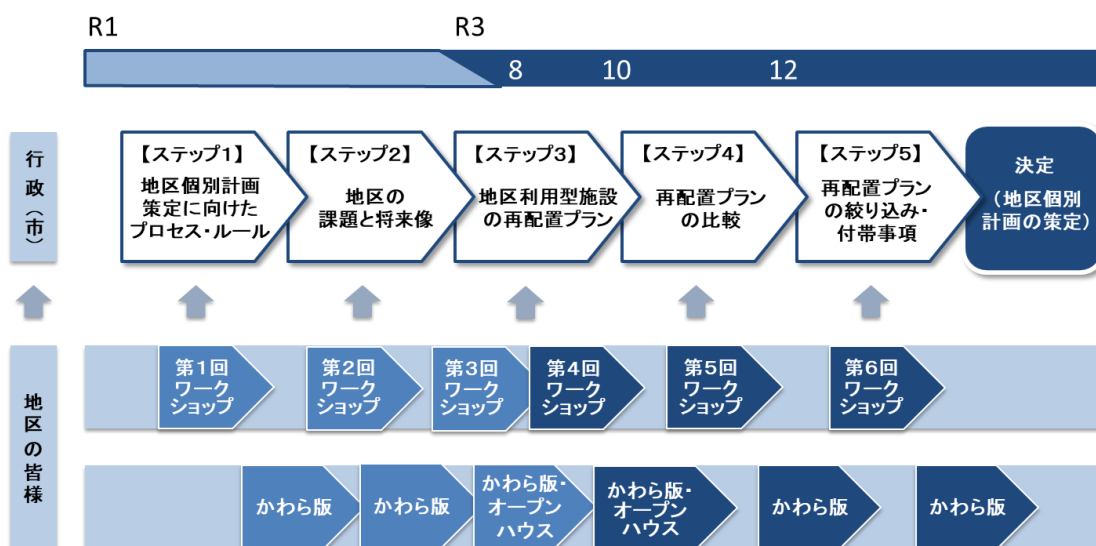
検討のステップ

市は、ワークショップ等で得られた成果をもとに、「地区個別計画」の策定に向けて次の5つのステップに分けて、段階的に検討を行います。

- ステップ1** ワークショップ等を通じ、地区個別計画をどのような手順で策定するか確認します。
- ステップ2** 地区にどのような課題があるか確認して問題意識を共有します。
- ステップ3** 課題解決に向けた方策について共有し、複数の再配置プランを検討します。更に、複数の再配置プランを比較するための評価の視点について検討します。
- ステップ4** 複数の再配置プランをステップ3で検討した視点に基づき評価し比較します。
- ステップ5** 再配置プランを絞り込むとともに、運営面での工夫等の付帯事項について整理します。

2

スケジュール（予定）



3 コミュニケーション

「地区個別計画」の策定に向けた検討では、地区の皆様と様々なコミュニケーションを進めていきます。

- ・ ワークショップ
- ・ オープンハウス（パネル展示型説明会）
- ・ かわら版



【オープンハウス（パネル展示型説明会）】

地区の住民の皆様が集まる施設などでパネルを利用し、ワークショップでのご意見や検討された再配置プランなどの内容を広報します。

どなたでも立寄ることができ、住民の皆様からワークショップで検討されている内容についてのご意見をいただきます。

今年度も新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、開催を予定しています。

【かわら版】

地区内の各世帯に配布するチラシです。各回のワークショップ終了後、広報がまごおりとともに配布を行います。ワークショップでのご意見や検討された再配置プランなどをお知らせするとともに、ワークショップで検討されている内容についてのご意見を募集します。

4 ワークショップの概要

- ワークショップは、令和3年12月までに3回開催します。
- 原則、日曜日に開催します。
- 新型コロナウイルス感染症対策のため、オンラインで開催します。ご自宅等からの参加が難しい場合は、中部中学校にて参加できます。
- 事務局は、蒲郡市総務部公共施設マネジメント課が担当します。
- ワークショップには、公募でご応募いただいた方が参加します。
- 同じ参加者に継続してご参加いただき、議論を深めていきます。
- ワークショップでは、参加者の皆様にグループ討議で自由にご議論いただきます。
- 中部中学校に設置された中継会場から一般の傍聴者や報道関係者が会議を傍聴することができます。

5 ワークショップの進め方

- グループ討議の運営では、円滑な議論のため、司会進行を第三者的立場のファシリテーターがお手伝いします。
- ワークショップでは、グループごとの議論を中心に進め、各回ワークショップの最後に各グループの議論の結果を発表します。
- グループ討議の議論は要点をまとめて記録します。これは個人の発言が特定されるものではありませんので、自由で前向きな議論をお願いします。
- 市に対する要望・陳情の場ではありません。
- ワークショップの様子をホームページ等で公表するなど情報発信を行います。話し合いの様子を記録する場合がありますことをご了承ください。

6 ワークショップの成果

- ワークショップでのご意見を踏まえて複数の再配置プランを評価・比較し整理します。
- 整理した内容は、市が「地区個別計画」を策定する際の基礎情報として活用します。

7 ファシリテーターのご紹介

～こんにちは。皆さんの議論を円滑に進めるために、第三者的立場から議事進行やとりまとめをお手伝いします。どうぞよろしくお願いいたします。～

なばた めぐみ
名畑 恵

NPO 法人 まちの縁側育くみ隊

ふじもり みきひと
藤森 幹人

株式会社 対話計画

かつらやま としあき
葛山 稔晃

株式会社 対話計画

いなば ひさゆき
稲葉 久之

フリーランス・ファシリテーター

- 話し合いに積極的に参加しましょう
- 自分の考えを率直に述べましょう
- 前向きな思考で発言しましょう
- 評論家ではなく当事者として関わりましょう
- 他の参加者の意見に耳を傾けましょう
- 気持ちよく運営できるよう協力しましょう
- 議論や運営に貢献する姿勢を讃えましょう

(必要があれば追加しましょう)

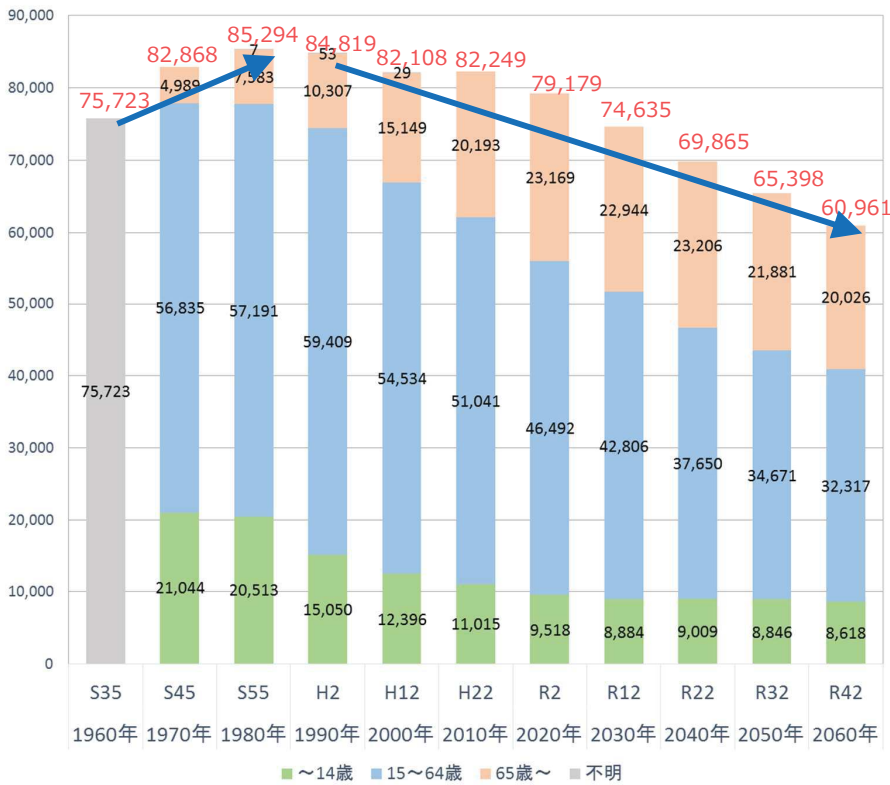


蒲郡市の現状と公共施設マネジメントの取り組み

- 
- 1 蒲郡市の現状と課題
 - 2 公共施設マネジメントの取り組み

蒲郡市の人口

蒲郡市は少子高齢化に加えて人口が転出超過傾向にあり、人口減少が一層進む見通しとなっています。



国立社会保障・人口問題研究所の2060年推計値

57,280人
2010年比△30%

2060年目標値
60,961人
2010年比△26%

2060年生産年齢人口
目標値：32,317人 (53.0%)
(2010年比△37%)

2060年高齢者人口
目標値：20,026人 (32.9%)
(2010年比24.6%)

出典：国勢調査
蒲郡市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン
(社人研推計値については、H30推計に基づき再計算を実施)

社会構造・ライフスタイルの変化

核家族化

高齢者世帯の増加

共働き世帯の増加

単身世帯の増加

など...



行政に求められるサービスも
変化しています。

○ 子育て支援

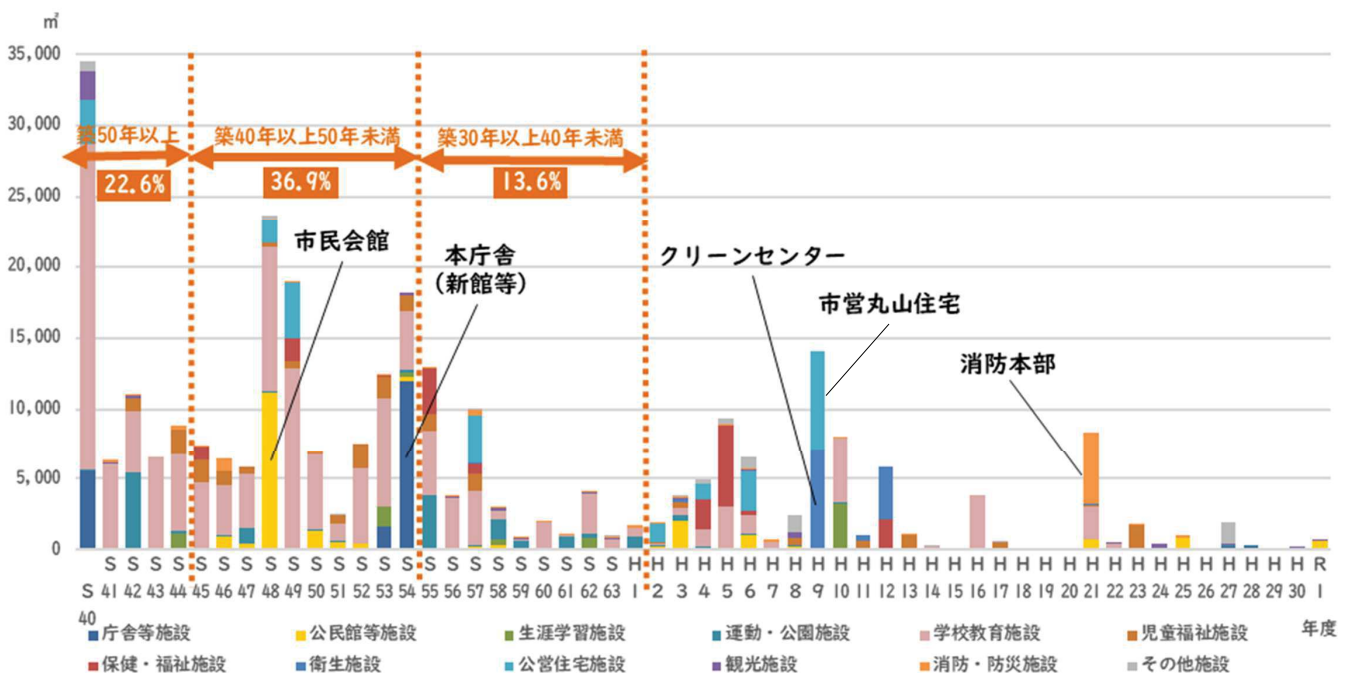
- ・ 延長保育・低年齢児保育の充実
- ・ 助け合いの仕組みづくり
- ・ 子育てに関する相談窓口の設置
- ・ 放課後の子どもの居場所づくり

○ 高齢者支援

- ・ 高齢者の居場所づくり
- ・ 見守りの体制づくり

公共施設（ハード面）においても時代のニーズに合わせた変化が必要です。

築年別整備状況（蒲郡市の公共施設）



- ・ 蒲郡市の公共施設の多くが、昭和40年代から50年代にかけて建設されました。
- ・ 築30年を超える建物が全体の約7割を占めています。

老朽化が進む公共施設



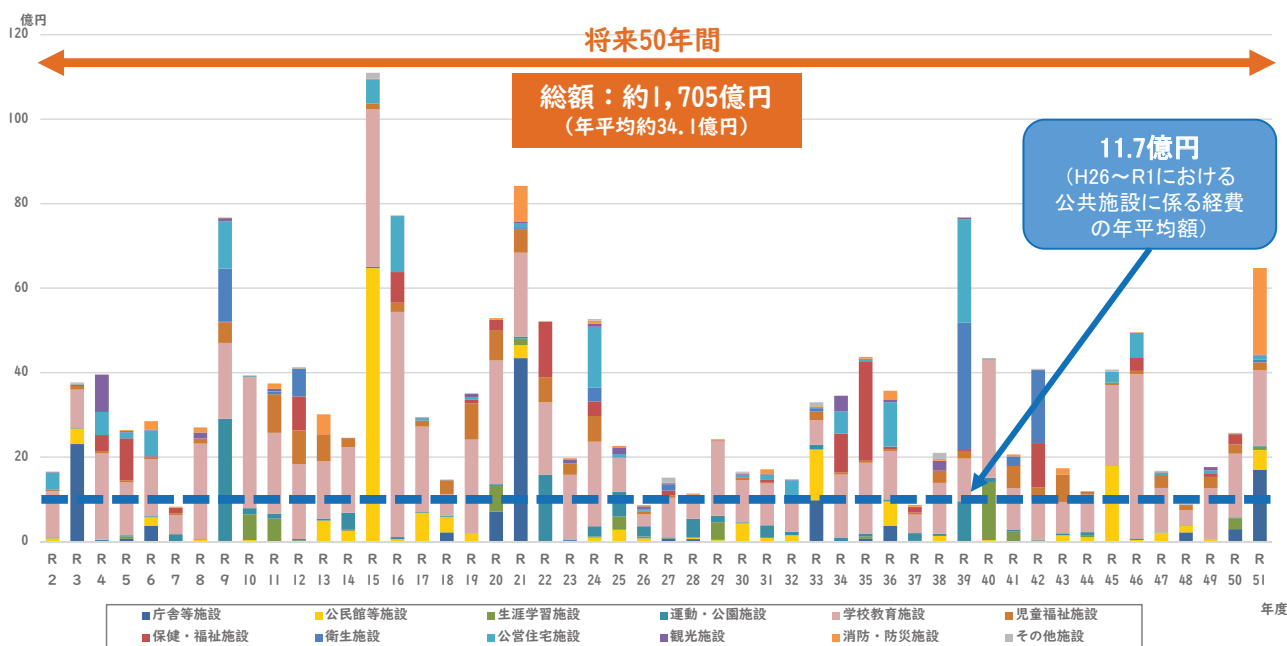
天井に開いた穴



壁に入った亀裂

- ・多くの施設で築30年以上が経過し、老朽化の進む施設が増えてきました。
- ・今後、市内の多くの施設で大規模な改修や建替えが必要になってくることを見込まれます。

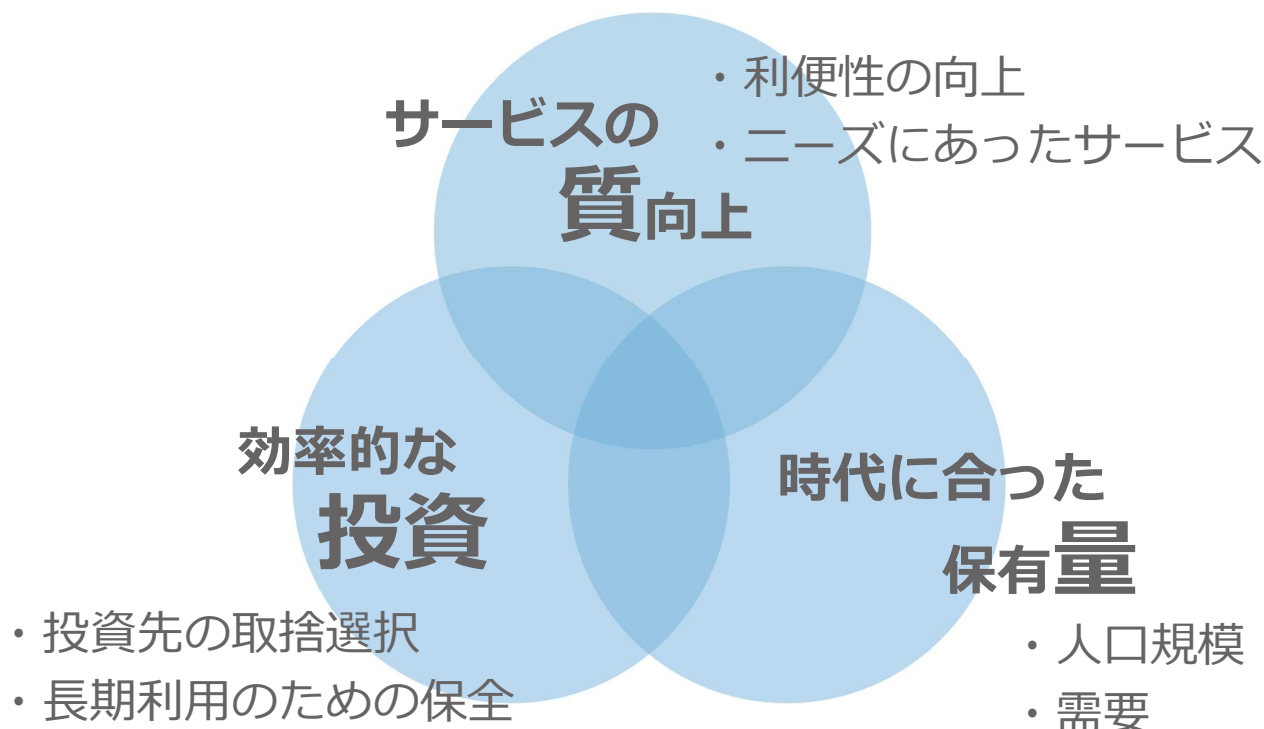
公共施設の維持更新にかかる将来費用



出典：令和2年度度蒲郡市公共施設白書

- ・ 公共施設の維持・更新にかかる費用は、将来50年間では総額約1,705億円（年平均約34.1億円）と推計されています。
- ・ 令和元年度までの6か年度において、公共施設に係る経費は1年あたり約11.7億円であり、大半の年で、公共施設の維持・更新にかかる費用が現状の公共施設に係る経費を上回っています。

公共施設マネジメントとは…



(参考) 新しい施設づくり

静岡県焼津市 東益津小学校・東益津公民館

- コミュニティ活動や世代間交流を促進する学校教育・生涯学習の拠点として整備。
- 学校施設の耐震化と公民館の建替えにあわせて2つの施設を合築。

世代間交流・地域交流の場

- 公民館で活動する高齢者との交流や地域ボランティアによる読み聞かせなどが行われている。



高齢者との交流



読み聞かせの様子

学校施設の開放

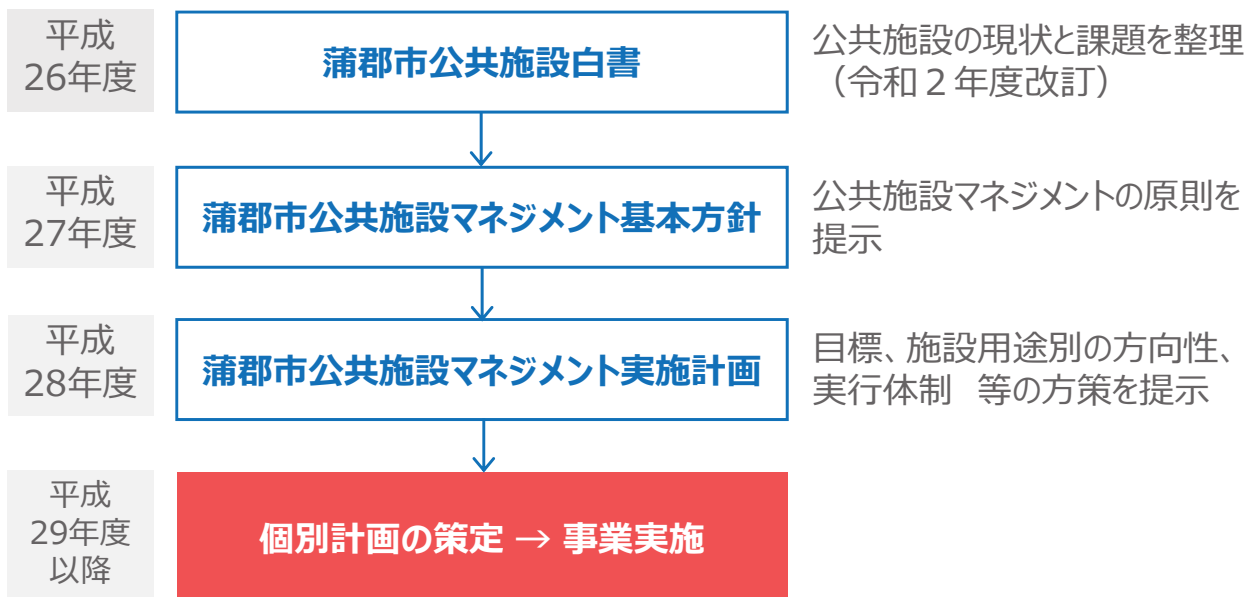
- 図書室・家庭科室等の学校施設を公民館と共有することで地域活動でも活用している。



図書室の様子

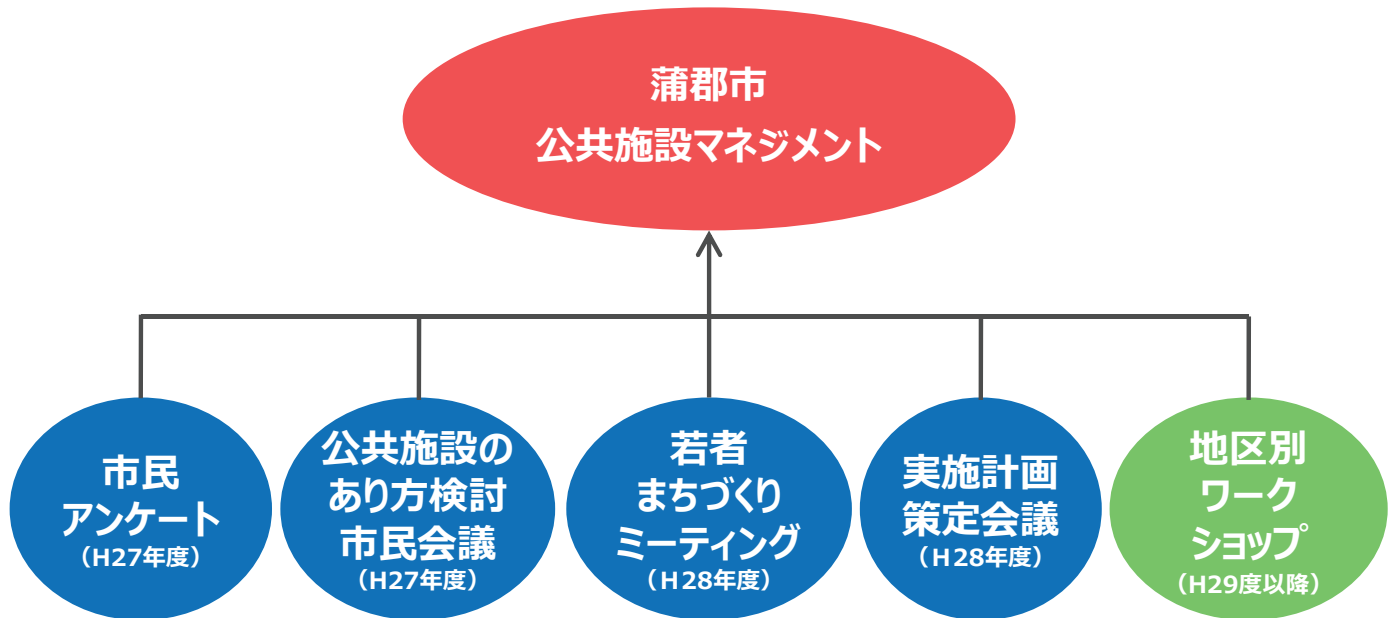
- 1 蒲郡市の現状と課題
- 2 公共施設マネジメントの取り組み

これまでと今後の取り組み



市民意見の反映

蒲郡市では、様々な方法で市民の皆様のご意見をお聴きしながら、公共施設マネジメントの取り組みを進めています。



市民との協働

公共施設のあり方検討市民会議 (H27年度)



若者まちづくりミーティング (H28年度)



公共施設マネジメント実施計画策定会議 (H28年度)



地区別ワークショップ (H29年度～)



蒲郡市公共施設マネジメント基本方針（H.28.3）

市民の皆様の意見を踏まえ、公共施設マネジメントを推進するための原則を示しました。

基本方針 5つのキーワード

適正化

将来を見据えた維持可能な施設規模に適正化します

効率化

効率的・効果的な維持管理を実施します

魅力

社会変化に対応した魅力ある公共施設へ再編します

安全性

計画的な保全により公共施設を安全に維持します

実行力

公共施設の再編にむけて実行体制を構築します

蒲郡市公共施設マネジメント実施計画（H.29.3）

公共施設マネジメントの取り組みを進めていくための方策を示しました。

計画期間

30年間

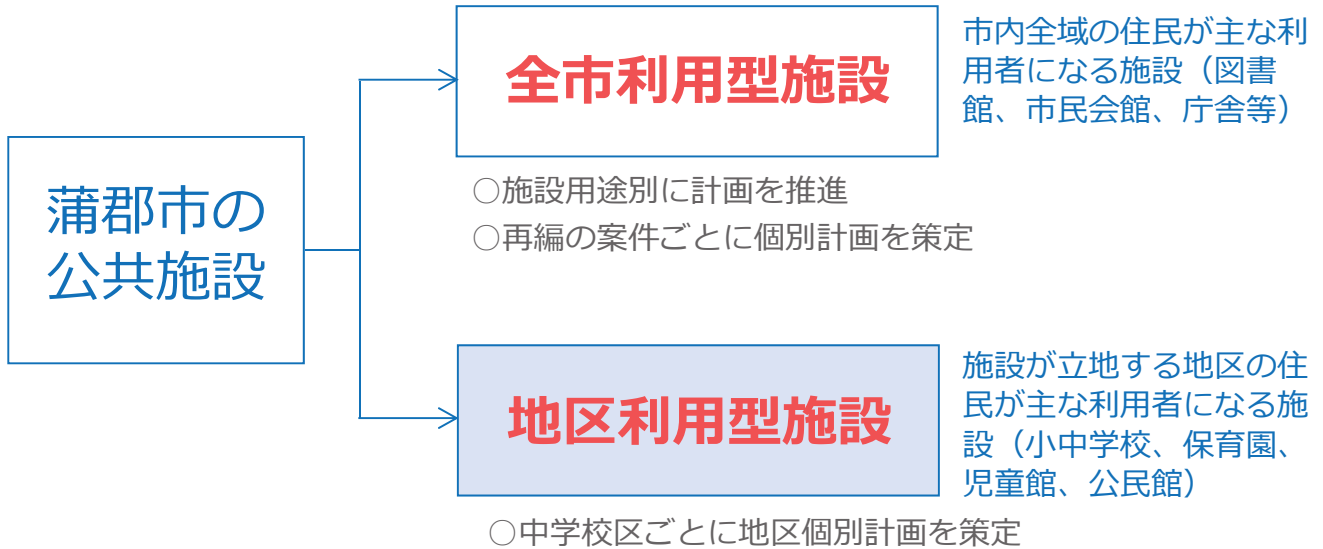
平成29年度から令和28年度（平成58年度）まで

マネジメント目標

- ① 建物の更新の際に
概ね**3割**の床面積を縮減する。
- ② 保有床面積の縮減と建物の長寿命化による費用の平準化により、
523億円の維持更新費用を縮減する。

施設の分類

本市の公共施設を**全市利用型施設**と**地区利用型施設**に分類し、適正配置を進める。

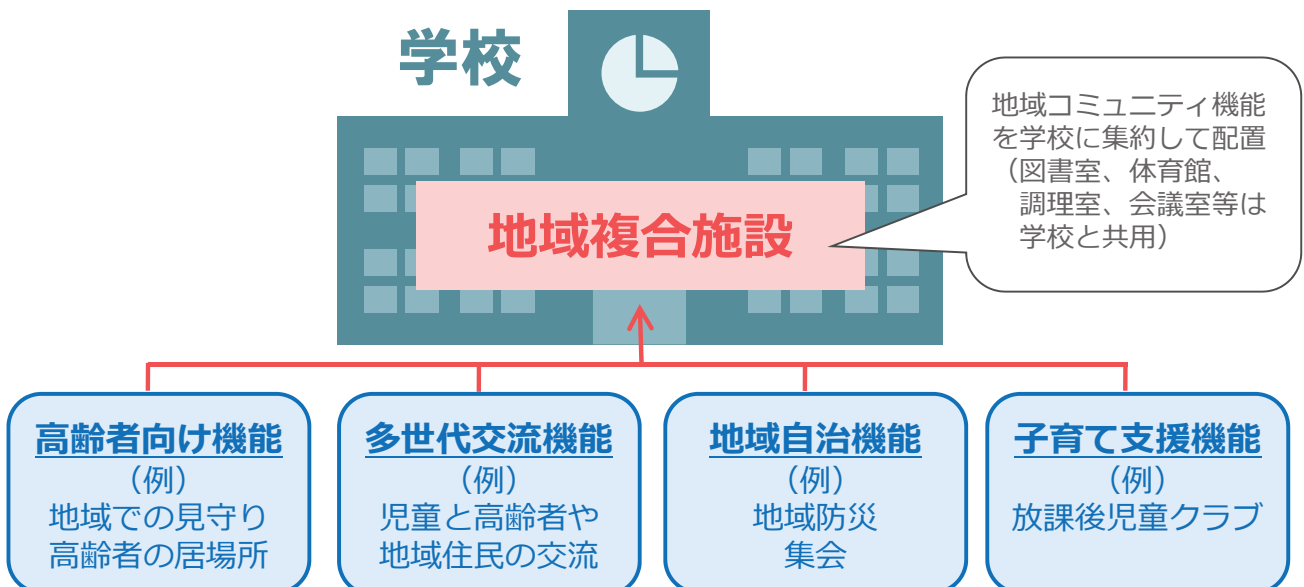


地区利用型施設についての基本的な考え方

社会の変化（人口減少・少子高齢化・共働き世帯の増加・単身世帯の増加など）に対応していくために、**地域で支え合い、助け合うことができる環境の充実**が求められています。



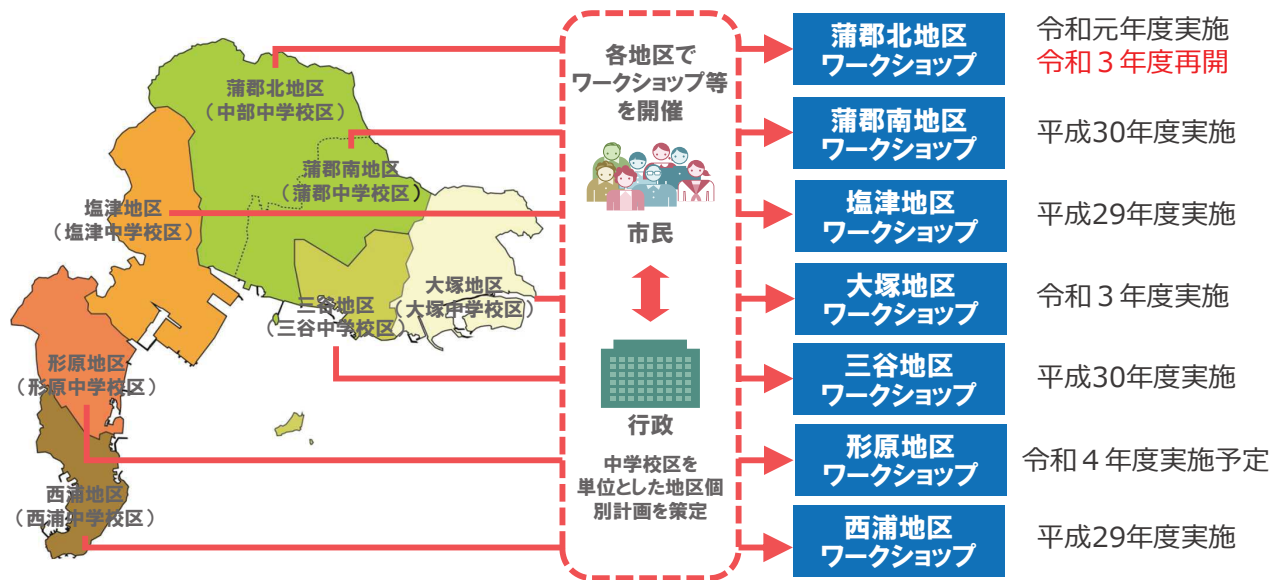
学校に多様な活動を行うことができる**交流拠点**を形成することで、コミュニティの維持・活性化を図ります。



中学校区ごとにワークショップを実施しています。

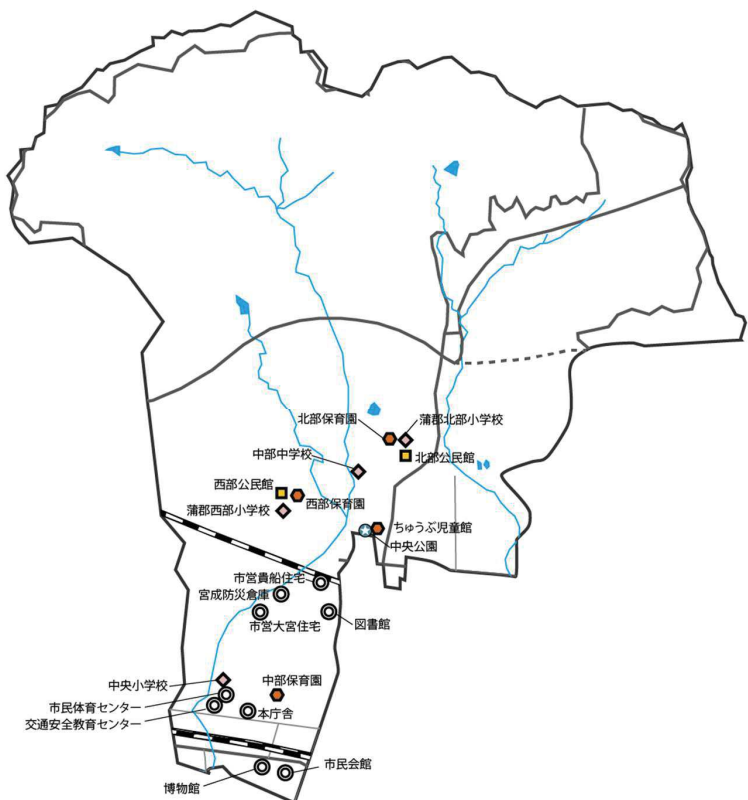
将来の地区利用型施設の配置や活用方法を示す地区個別計画を中学校区ごとに策定します。

策定にあたっては、ワークショップ等の実施により、地区の住民の皆様の考え方・アイデアを取り入れます。



蒲郡北地区の地区利用型施設は以下の**10施設**です。

- 蒲郡北部小学校
- 蒲郡西部小学校
- 中央小学校
- 中部中学校
- 北部保育園
- 西部保育園
- 中部保育園
- ちゅうぶ児童館
- 北部公民館
- 西部公民館



塩津地区の皆さまからいただいたご意見（抜粋）

「子育て」の視点

- ・ 地区内の公立保育園は3歳未満児の保育や延長保育を実施していないので、不便。
- ・ 鹿島や拾石の子ども達のことを考えると、小学校は地区の中心に近い今の立地がいいと思う。

「地域・交流」の視点

- ・ 公民館を多世代・多国籍の集まる施設にしたい。
- ・ 地域の活動で、学校の体育館やグラウンド・調理室などが使えると便利。

塩津地区個別計画

コンセプト

集まりやすい位置に
「子育て」と「交流」
の拠点をつくる



- 塩津小学校・塩津公民館の敷地に小学校・保育園・公民館の機能を集め、「子育て」と「交流」の拠点を形成します。
- 2つの保育園を集めて、低年齢児保育と延長保育が実施可能な規模の保育園を整備します。
- 児童クラブの機能は、小学校と同じ敷地に設けます。
- 中学校は、現地で適正規模に改築します。
- 児童館は、現地で長期にわたって利用できるよう適切に維持していきます。

地区個別計画に基づく基本計画書（案）

学校の先生や保育士、公民館運営者とともに検討を行い、施設内の機能配置や管理運営方法について定める基本計画書（案）を作成しました。

子育ての視点

- ・低年齢児保育や延長保育が実施可能な施設規模、設備をもつ保育園を整備します。
- ・小学校低学年と保育園児の「共同の遊び場」を設置し、子ども達の日常的な交流を図ります。

交流の視点

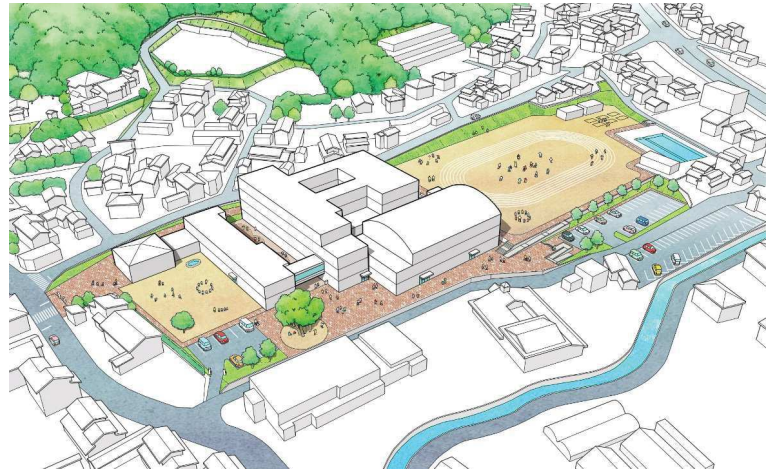
- ・各施設から利用しやすい場所に地域のイベント等を実施できる屋外広場を設置します。
- ・図書室や体育館などを相互利用可能とすることで、交流の活性化を図ります。



共同の遊び場での交流イメージ



クスノキ近くに整備される屋外広場のイメージ



塩津小学校・保育園・公民館の整備イメージ

令和元年度にいただいたご意見（蒲郡北地区の課題と課題解決に向けた方策）

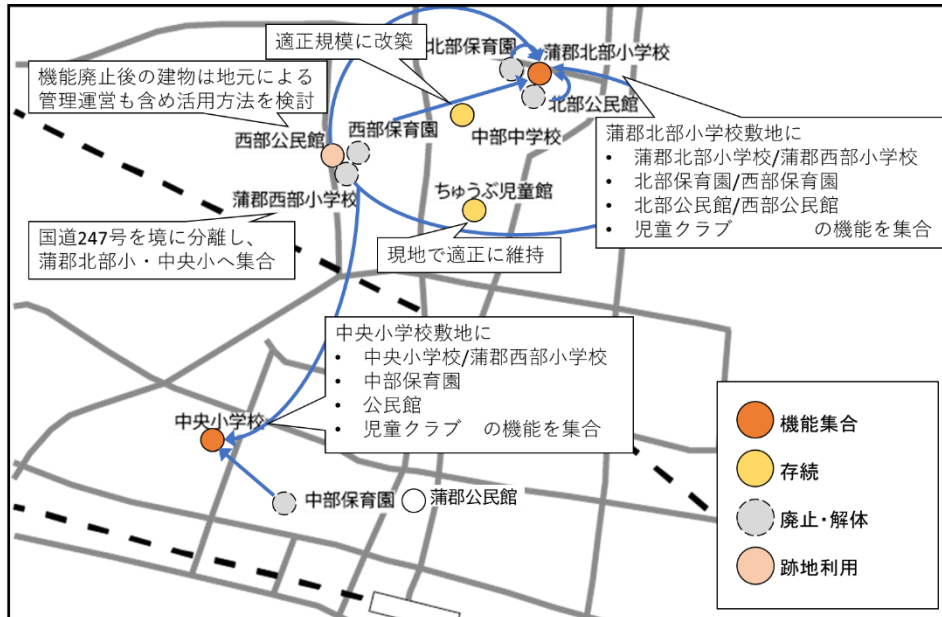
視点の整理		課題解決に向けた方策		
視 点	地区の課題・将来像としていただいたご意見	施設の再配置を通じた 解決策としていただいたご意見	再配置を通じた 解決策	運営の工夫による 解決策としていただいたご意見
① 地域での活動・ 交流のしやすさ	<ul style="list-style-type: none"> 施設の複合化で世代間の交流、地域の活性化につなげられないか。 学区と自治会の不整合がある。 外国人の交流の場という視点も必要ではないか。 見守り活動などを通じて、年配の人の活躍の場が生まれ、世代間の交流にもつながる。 	<ul style="list-style-type: none"> 多機能化や複合化によって利便性が向上し、多世代で交流できる場となれば、地域の活性化にもつながる。 中央小学校区は蒲郡公民館を利用している。体育センターに公民館を併設してほしい。 コミュニティの基本は祭りのつながりであり、施設配置の際にはその点を配慮してほしい。 北部地区は区画整理が進んで近年子どもも増えている。北部地区から公共施設をなくすことは考えにくい。 	<ul style="list-style-type: none"> ①多様な方々の交流の場の創出 ②地域での活動がしやすい施設配置 	<ul style="list-style-type: none"> 学区と行政区に不整合がある。地区の行事は学区でまとまると良い。 子どもと市民団体が共に活動する場所を検討できると良い。 公民館は若い人が使いやすい環境づくりや利用のPRを行い、利用促進を図りたい。 公民館に自由に入出りできるフリースペースがあると中高生や高齢者が集う場所になる。
② 学校教育環境の あり方	<ul style="list-style-type: none"> 生徒数などの観点から再編は妥当。 小規模学級のメリット・デメリットを考慮する必要がある。 人口が少ないと学校役員など住民の負担も大きい。一方、みんなでやっていこうという考えも大事である。 再編する場合、児童数だけでなく地域性や安全性、利便性など総合的に考えるべき。 小中一貫校の導入を検討してはどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> 小・中学校については全市的な方針・視点で配置案を考えた方がよいのではないかと。 3つの小学校を統廃合せずに、各小学校に公民館や保育園、児童館を集約していく案も考えられる。 児童数等を考慮すると、小学校を3校から2校へ再編するのが妥当だ。 西部小学校区は人口が少なく、再編すれば負担の平準化や効率化を図ることができる。 学校を減らしてでも、子どもたちに手厚い支援をしたい。 小中一貫校を導入して中部中学校と小学校3校を一緒にする案も考えてはどうか。児童生徒数が多い方が教育環境として望ましいし、効率の良い施設配置ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ③小学校の再編 ④小学校と中学校の一体化 	<ul style="list-style-type: none"> 小学校を統合する場合は小学生の通学手段を確保する。 少人数でのんびりした学校があっても良いのではないかと。 少人数学校を希望する方のために学区の垣根を越えて越境通学を認めるような制度の見直しが必要ではないかと。 小中一貫校にすれば、小学校で教科担任制への移行もしやすくなる。
③ 子育てしやすい 環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> 子育て関連施設は近くにあったほうが便利で安心である。 保育園を統合して効率化し、延長保育などサービスを向上してほしい。 児童クラブは学校内でできないか。 小学校の部活動がなくなると児童クラブや児童館のニーズは高まる。 	<ul style="list-style-type: none"> 保育園は統合によって効率化し、延長保育や未満児保育などのサービスを向上してほしい。 西部保育園は西部小学校と一体化したほうが便利である。 小学校の敷地内や学校に近い北部公民館や西部公民館に児童クラブの機能があると良い。 ちゅうぶ児童館は公園に隣接しており利用しやすいので残してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ⑤子育て関連機能の集合 ⑥小学校内への児童クラブの設置 	<ul style="list-style-type: none"> 年齢によって子どもの遊び方が違う。年代ごとに分かれて遊ぶことができるスペースがあると良い。
④ 高齢者の居場所 づくり	<ul style="list-style-type: none"> 高齢化が進んでおり、日常的に交流できるようにしたい。 元気な高齢者の居場所が近くに欲しい。 目的はなくても気軽に立ち寄れる場所が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> 目的はなくても気軽に立ち寄れる場所が必要ではないかと。 元気な方の居場所として、遊んだりお話ができる施設が近くに欲しい。 高齢者向けの施設は歩いて通えるところに配置することで利用しやすくなる。 	<ul style="list-style-type: none"> ⑦高齢者が活動できる場の整備 	<ul style="list-style-type: none"> 日常的に交流ができるよう、ソフト面での対応などで高齢者が住みよいまちにしたい。 地域の年配の人が子どもの通学などを見守ることで活躍の場が生まれ、高齢者と子ども達の交流につながる。 近所付き合いもなくおとなしい人も多いので、交流できる機会がたくさんあると良い。
⑤ 安全・安心	<ul style="list-style-type: none"> 防災や交通安全を考えた施設配置を考えるべき。 今後の道路開通見込みなどを踏まえ、交通の変化を想定して施設配置を考える必要がある。 障がい者などの災害避難対策の配慮が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> 中央小学校は標高が低く、避難場所としては疑問がある。 避難施設など防災面も考慮した上で、公共施設の配置を計画するべきである。 通学路の安全を考慮した計画にするべきである。 	<ul style="list-style-type: none"> ⑧自然災害からの安全確保 ⑨避難所・避難場所の適正配置 ⑩交通安全に配慮した施設配置 	<ul style="list-style-type: none"> 247号の開通で交通量が増えて危険な状態であるため、道路整備や防犯カメラの設置、交通規制などの対策が必要ではないかと。
⑥ 利便性の確保	<ul style="list-style-type: none"> コミュニティバスの整備が必要。 子どもや高齢者が使う施設は徒歩圏内に施設があると良い。 車でアクセスしやすいよう施設周辺の道路整備が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者や子どもは徒歩での移動が多いため、こうした人が利用する施設は徒歩圏内に配置を検討すべきである。 	<ul style="list-style-type: none"> ⑪徒歩でアクセスしやすい施設配置 	<ul style="list-style-type: none"> 学校周辺の道路環境があまり良くない。学校周辺の道路整備が望まれる。 コミュニティバスなど、公共施設へのアクセスの確保は必須である。
⑦ 将来負担の縮減	<ul style="list-style-type: none"> 人口減少に伴い施設を減らす必要がある。 効率化して新たなサービスを充実させてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 今ある施設を有効に活用し、余った施設は廃止すべきである。 小学校を再編すれば学校跡地の有効活用もできる。 	<ul style="list-style-type: none"> ⑫施設総量の縮減 	
⑧ 運営の改善	<ul style="list-style-type: none"> 施設の有効利用を考えるべき。 利用しやすい工夫が必要である。 施設の利用率を上げるには情報発信が重要。 地域集会所のような小規模な施設の運営がヒントになるのではないかと。 			<ul style="list-style-type: none"> 民間に有料で貸し出したらどうか。 施設の利用率を上げるには情報発信が重要である。 公民館の調理室の利用促進のため、飲食業を巻き込んだイベントなどで利用してはどうか。

A

通学の安全を確保し、 学校規模の適正化を図るプラン

【重点を置いた解決策】③⑩

- 蒲郡西部小学校は国道 247 号を境に分離し、蒲郡北部小学校・中央小学校と集合します。
- 蒲郡北部小学校敷地に蒲郡北部小学校、蒲郡西部小学校、北部保育園、西部保育園、北部公民館、西部公民館、児童クラブの機能を集め、北部地区・西部地区の新たな拠点を整備します。
- 中央小学校敷地に中央小学校、蒲郡西部小学校、中部保育園、公民館、児童クラブの機能を集めます。
- 中部中学校は適正規模に改築します。
- 西部公民館建物は地元による管理運営も含め活用方法を検討します。



いただいたご意見

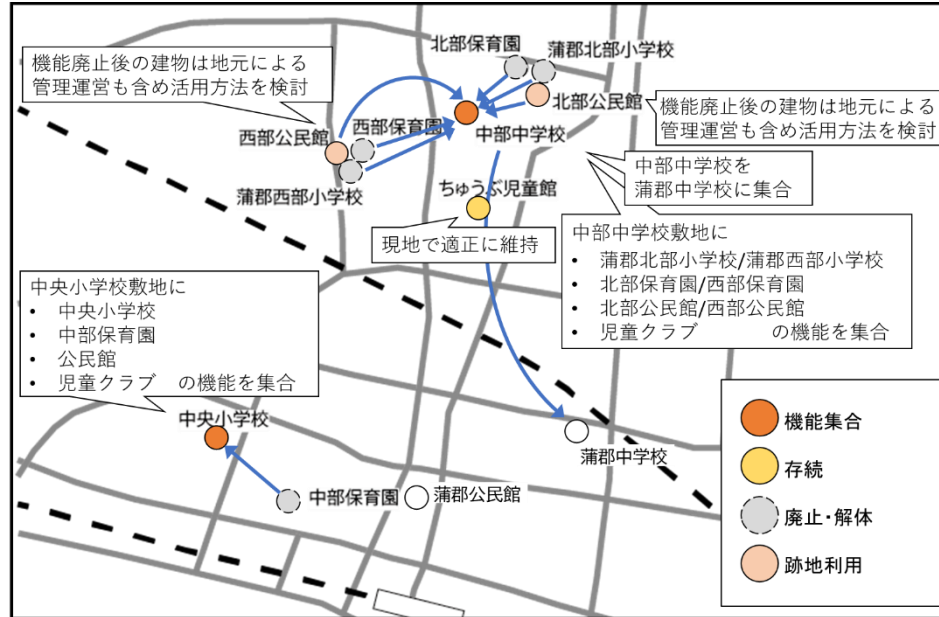
- 国道 247 号を通学で行き来する危険がなくなり、交通事故のリスク低下につながる。
- （西部小の集合により）小学校がクラス分けできる規模になるのは教育環境として良いと思う。
- 中央小学校に様々な施設が集まると地域交流が生まれる。
- 西部小を国道 247 号で分けるのは、行政区との不一致が生じ、コミュニティへの影響が大きい。
- 少人数だからと言って西部小をなくすのは長年の地域の繋がりをなくしてしまうことにつながると思う。
- 公民館は地域の拠点なので、北部公民館と西部公民館の統合には無理があると思う。

B

北部地区と西部地区の 新たな交流拠点をつくるプラン

【重点を置いた解決策】①⑤

- 中部中学校は蒲郡中学校と集合します。
- 中部中学校敷地に蒲郡北部小学校、蒲郡西部小学校、北部保育園、西部保育園、北部公民館、西部公民館、児童クラブの機能を集め、北部地区・西部地区の新たな拠点を整備します。
- 中央小学校敷地に中央小学校、中部保育園、公民館、児童クラブの機能を集め、中央小学校区の拠点を整備します。
- ちゅうぶ児童館は現地で適正に維持していきます。
- 北部公民館、西部公民館建物は地元による管理運営も含め活用方法を検討します。



いただいたご意見

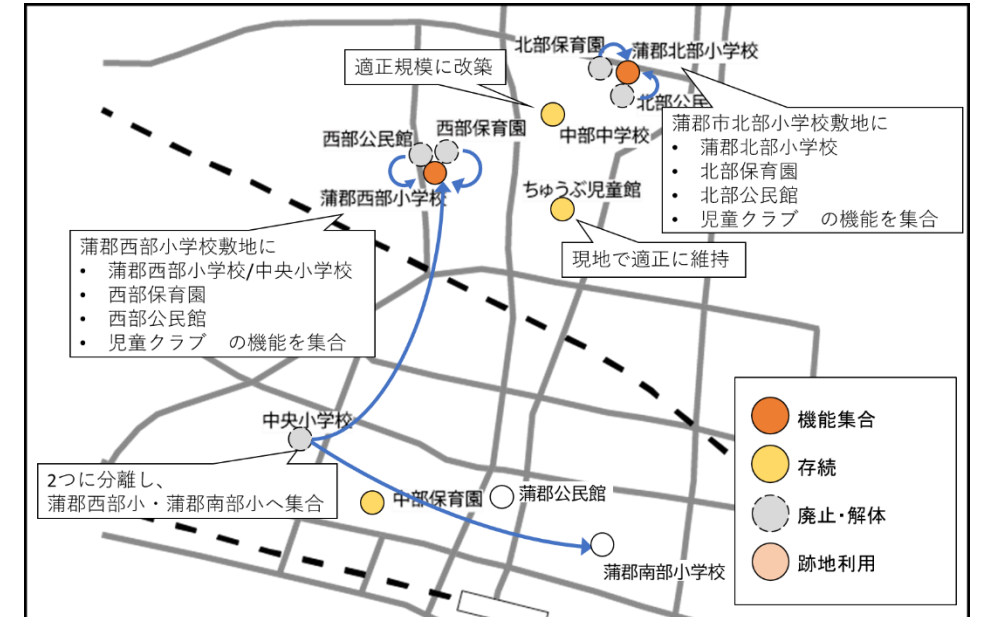
- 施設面積の縮減や児童生徒の確保の面で効果がある。年月は必要だが、検討する価値がある。
- 小学校（北部小・西部小）が中部中学校の敷地に移ることで児童館との距離が近くなり、放課後の遊び場が近くなるのでよい。
- 中部中と蒲郡中を統合すると通学距離が長くなり、帰りが上り坂となるので、自転車通学でも不便だ。
- 中部中と蒲郡中は、昔は1つだったので、集合に違和感はないが、生徒数が多くなりすぎないかが不安。
- 北部地区・西部地区の施設がすべて使われなくなる。その後の活用方法がないか。

C

地域の交流拠点をつくるプラン

【重点を置いた解決策】①②

- 中央小学校を2つに分離し、蒲郡西部小学校・蒲郡南部小学校と集合します。
- 蒲郡北部小学校敷地に蒲郡北部小学校、北部保育園、北部公民館、児童クラブの機能を集めます。
- 蒲郡西部小学校敷地に蒲郡西部小学校、中央小学校、西部保育園、西部公民館、児童クラブの機能を集めます。
- 中部中学校、中部保育園は適正規模に改築します。
- ちゅうぶ児童館は現地で適切に維持していきます。



いただいたご意見

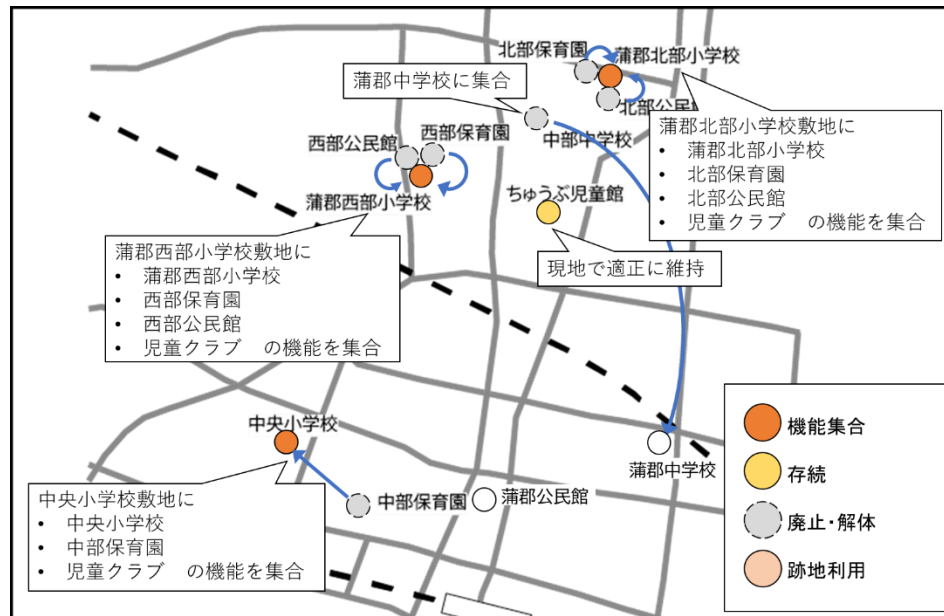
- 中央小が西部小と集合することは、津波など防災の観点からは良いと思う。
- 中央小が2つに分かれることで、行政区と学区がどのように変化していくのかが心配だ。児童の通学距離も考えて区割りをする必要があるだろう。
- 中部中の生徒数の確保が難しくなる。
- 中部保育園は人気があるので、存続していてよい。保育士不足が心配なので、規模を拡大し、サービス拡充ができないか。
- 中央小跡地を市民プールとして活用できないか。

D

地域性を維持し、各地に子育ての拠点をつくるプラン

【重点を置いた解決策】②⑤

- 蒲郡北部小学校敷地に蒲郡北部小学校、北部保育園、北部公民館、児童クラブの機能を集めます。
- 蒲郡西部小学校敷地に蒲郡西部小学校、西部保育園、西部公民館、児童クラブの機能を集めます。
- 中央小学校敷地に中央小学校、中部保育園、児童クラブの機能を集めます。
- 中部中学校は蒲郡中学校と集合します。
- ちゅうぶ児童館は現地で適正に維持していきます。



いただいたご意見

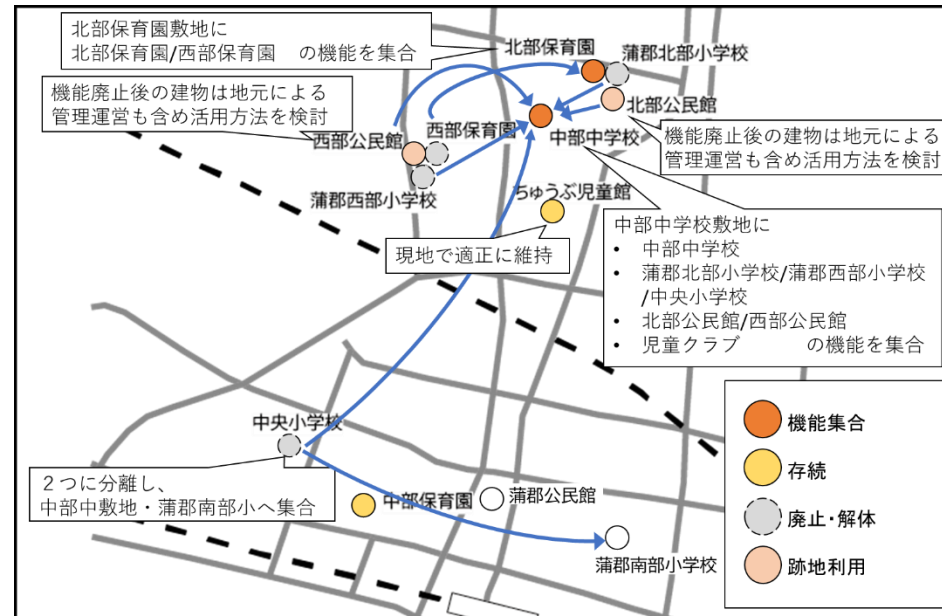
- 小学校は地域の核であり、現在の小学校を維持することで地域の繋がりを保つことができる。
- 地域で子どもを育てるとい教育委員会の方針を具現化できる案だと思う。そういった環境を作るには、小規模校のほうが取り組みやすいと考える。
- 中部保育園が駅から遠くなってしまい、不便になる。
- 小学校の集合がなく、各学校の児童数確保が難しい。
- 中学生は地域で見守るよりも自立する世代なので、蒲郡中との集合に問題はない。
- 小学校区のコミュニティを維持するため当面は D 案で再編し、人口減少を確認しながら、B 案を目指してはどうか。

E

充実した教育の拠点と世代間交流の場をつくるプラン

【重点を置いた解決策】③④

- 中央小学校を2つに分離し、蒲郡北部小学校/蒲郡西部小学校・蒲郡南部小学校と集合します。
- 中部中学校敷地に中部中学校、蒲郡北部小学校、蒲郡西部小学校、中央小学校、北部公民館、西部公民館、児童クラブ機能を集めます。
- 北部保育園敷地に北部保育園、西部保育園の機能を集めます。
- 中部保育園は適正規模に改築します。
- ちゅうぶ児童館は現地で適正に維持していきます。
- 北部公民館、西部公民館建物は地元による管理運営も含め活用方法を検討します。



いただいたご意見

- 教育・防災・地域のつながりといった視点から考えるとよいプランだと思う。
- 施設面積の縮減の点で最も効果が期待できる。
- 中央小の再編により、地区が空洞化して人口減少が加速しないかが心配。
- 保育園はもともと地区ごとに通うものではないので、北部保育園と西部保育園の集合に問題はないと思う。
- 中央小はもともと南部小から分離したので、南部小との集合に対する抵抗は他の小学校との集合と比べ抵抗が少ないのではないかと。

オリエンテーションのふりかえり

今後の検討の軸となる「8つの視点（p.19 参照）」について、追加すべき考え方やいいなと感じた考え方はありますか？

お手数をおかけしますが、
オリエンテーション終了後に送付する回答フォームよりご回答いただくか、
同封したアンケート用紙に記入のうえ、下記連絡先までお届けください。

（事務局連絡先）

郵送先：〒443-8061 蒲郡市旭町17番1号

蒲郡市公共施設マネジメント課行

FAX：0533-66-1183

メール：k-mane@city.gamagori.lg.jp

次回ワークショップのご案内

「第4回蒲郡北地区まちづくりと公共施設の将来を考えるワークショップ」を以下のとおり開催いたしますので、ご参加下さいますようお願いいたします。

1 日時

令和3年8月22日（日）

午後1時30分～午後4時30分

（受付開始時刻＊オンライン：午後1時 会場：午後1時15分）

2 お願い

- ご欠席の場合や会場（中部中学校 図書室）での参加を希望される場合は、8月13日（金）までに事務局へご連絡ください。
- 次回ワークショップの資料を郵送で事前に配布いたしますので、届きましたら資料に不足がないかご確認ください。参加の際に使用するZoomのID・パスコードも同封させていただきます。

【ワークショップ事務局】

蒲郡市総務部公共施設マネジメント課

担 当：上田・尾寄・星野

電 話：0533-66-1214

ファクス：0533-66-1183

E-mail：k-mane@city.gamagori.lg.jp